

キラ 輝っと さきベ

崎辺地区自治協議会だより

No.40

発行日：R2. 8.20



コロナ禍の中、例年になく夏休みやお盆を過ごされた方も多くいらっしゃるのだと思います。

一時、活動を再開した町内会活動も長崎県内・佐世保市において新型コロナウイルス感染症患者が発生したことによりさまざまな行事を中止せざるを得ない状況のようです。

“with コロナ”とは言うものの…、自粛の方向性が示されるのも仕方がないことかもしれません。

事務局：崎辺地区公民館内
場所：佐世保市十郎新町3番7号

☎：(0956) 27 - 2170

E-mail：sakibe-ziti@tvs12.jp

めざそう！ 緑と海に囲まれた
美しいまち 輝っと “さきベ”

“きらっと崎辺 100歳体操クラブ”活動中止のお知らせ

“輝っと さきベ” No.39でお知らせしていた「100歳体操クラブ」の活動が、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、10月実施予定分まで中止することとなりました。8月6日の実施予定日には中止連絡が間に合わず、参加予定の皆さんにはご迷惑をおかけしました。



8月6日当日は、保健福祉部会の皆さんが「中止を知らないで公民館まで来られた方」に対し、お詫びの言葉をかけられていました。今のところ11月から開催の予定ですが、詳細が決まりしだい皆さんにお知らせします。

活動の拠点に「ひまわり」が輝いていますよ！！



新型コロナウイルス感染症の関係で崎辺地区自治協議会の活動が例年どおりできない中、「花いっぱい運動」が展開されています。昨年からの継続事業として、昨年まで環境衛生部会の有志の方が中心となって、自分たちの手で作った公民館駐車場入り口の花壇に色とりどりの花を植え、来館者の気持ちを和ませてくれています。

現在は、大小の向日葵やポチュラカが来館者の方を迎えてくれています。花壇の奥には、河津桜やさつきなどが植えてあり、開花の時期が来るのが楽しみです。

夏の晴天が続くため、心配になって土日の朝、水やりを公民館に来てみると…。誰かが花壇いっぱい水をやってくれていました。この取り組みが人と人の心をつなげているんだという思いで嬉しくなりました。崎辺地区自治協議会の特色ある事業として定着している「花いっぱい運動」は、確実にその成果を現し、“自分たちの手でまちづくりを”という強い思いを地域住民に醸成してくれています。



家族みんなで “平和” について考える機会を！

今年新型コロナウイルス感染症拡大防止対策から、例年8月9日「県民祈りの日」の登校日に行われる平和学習ができませんでした。そこで、8月6日(木)に広島市で開催された「平和記念式典(広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式)」において発表された、こども代表による「平和の誓い」を紹介します。家族で読み合い、平和について考える機会をつくってほしいと願っています。

平和への誓い

「75年は草木も生えぬ。」と言われた広島町。

75年経った今、広島町は、人々が活気に満ちあふれ、緑豊かな町になりました。

この町で、家族で笑い合い、友達と学校に行き、公園で遊ぶ。
気持ちよく明日を迎え、様々な人と会う。
当たり前が日常が広島町には広がっています。



しかし、今年の春は違いました。

当たり前だと思っていた日常は、ウイルスの脅威によって奪われたのです。

当たり前が日常は、決して当たり前ではないことに気付かされました。

そして今、私たちはそれがどれほど幸せかを感じています。

75年前、一緒に笑い大切な人と過ごす日常が、奪われました。

昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。

目がくらむまぶしい光。耳にこびりつく大きな音。

人間が人間の姿を失い、無残に焼け死んでいく。

町を包む魚が腐ったような何とも言い難い悪臭。

血に染まった無残な光景の広島を、原子爆弾はつくったのです。



「あのようなことは二度と起きてはならない。」

広島町を復興させた被爆者の力強い言葉は、私たちの心にずっと生き続けます。

人間の手によって作られた核兵器をなくすのに必要なのは、私たち人間の意志です。

私たちの未来に、核兵器は必要ありません。

私たちは、互いに認め合う優しい心を持ち続けます。

私たちは、相手の思いに寄り添い、笑顔で暮らせる平和な未来を築きます。

被爆地広島で育つ私たちは、当時の人々があきらめずにつないでくださった希望を未来へとつないでいきます。



令和2年(2020年)8月6日

こども代表 広島市立安北小学校 6年 長倉 菜摘
広島市立矢野南小学校 6年 大森 駿佑